

追憶 下弦の月

追憶
下弦の月



尾原重男

新月は

上弦の月になり、

満月を経ていま、

下弦の月。

半世紀をともに過ごした

妻との日々を失った痛み

亡き妻との思い出を

綴ることのできた癒し

自身の生い立ちや、

経験した戦争の悲劇。

日本が背しかった時代……

74歳、人生のサード・クォーター。

月の満ち欠けにたとえるならば

下弦の月にあたる今、

書き記す意味がある。

Parade Books

発売日: 2017年11月20日

出版: パレード

著者: 尾原重男

ページ: 362

PDF

<http://yep.pm/nFqwAaSi5/iSTjWiG6Q.pdf.rar>